

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県森林科学館
指定管理者	公益社団法人埼玉県農林公社
評価対象年度	令和2年度
施設所管課	秩父農林振興センター

項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、平等利用の確保	安全性の確保	A	日常点検をこまめに行い、施設の危険箇所の把握・対応を速やかに行った。これにより、指定管理者の瑕疵を問われるような事故もなく、安全性の確保が図られた。
	法令等の遵守	A	各種法定点検を適切に実施しており、また個人情報の漏えいなども認められなかった。
	平等利用の確保	A	利用日、利用時間ともに守られており、定期点検のために臨時休業する場合も県に協議するなど適切に対応した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止による利用休止措置も適切に実施された。
施設の設置目的の達成	事業の実施	A	森林・林業に関する展示やイベント等を行い、県民が森林及び林業について学習する機会を設け、その理解を深めてもらうよう努めた。
	利用状況	A	新型コロナウイルス感染拡大防止による利用休止等の影響を鑑み適宜管理目標を見直した結果、コロナ禍に対応した施設利用者数は達成された。
	適切な管理の履行	A	日常点検を確実に言い、また修繕を行ったときは定期報告に記載して県に報告するなど、適切に管理していた。
	財産の適切な管理	A	施設の老朽化に伴い修繕する頻度が多くなっているなか、適切に修繕等を行うなどの対応をとった。
	県内中小企業者、環境、障害者雇用等への配慮	A	役務・物品ともに地元中小企業からの調達に努めた。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	意見箱や来園ノートを設置し、来園者の意見を管理運営の改善に役立てている。
	利用者の満足度	A	アンケート調査で「よい」と回答した人の割合は、施設利用者100%、イベント参加者98%であった。
総合評価		A	日常の維持管理や、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上でのイベント開催などが適正に行われた。

特筆事項	特に評価すべき点	消毒液の設置やソーシャルディスタンス確保の表示等、新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行った。 コロナ禍においても森林・林業のみならず、地域の特性を活かした多彩なイベントも、安全性を確保した上で開催し、利用者数の増加に努めた。
	次年度に向けて改善が望まれる点	本年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で利用の推進と安全配慮に努めていくことが望まれる。